

研究に関する情報公開

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

<研究課題名> 心筋梗塞治療時の機械的補助装置における心保護作用の探索的観察研究
<研究機関・研究責任者名> 日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科 (研究責任者) 奥村恭男
<研究期間> 承認日～令和5(西暦2023)年12月31日
<研究の目的と意義> 当院にて心筋梗塞治療を行われた患者様で、IABP か IMPELLA での機械的補助循環装置を用いて治療を受けられた中で、心臓MRIを急性期と慢性期に施行している患者様が対象です。心臓MRIのデータから、補助循環装置別に心臓にどのような心保護作用がでていたかを検討することがこの研究の目的です。これができることで、今後の治療の際に最適な循環補助装置を選ぶことができます。この研究を完遂することで、あなたと同じ病気に今後かかる患者さんがよりよい治療を受けることができるようになります。
<利用する試料・情報の項目> この研究の主な収集項目 ●患者背景、採血(血算(Hb, Ht, Plt)、腎機能(BUN, Cre)、心筋逸脱酵素(CK, CKMB)、 バイオマーカー(NT-pro BNP、トロポニンT) 血液ガスデータ(乳酸) ●心臓MRI、心臓超音波検査
<対象となる方> 当院にて以前、急性心筋梗塞治療時に経皮的に心臓を補助する装置であるIMPELLA, IABPを用いて治療を受けた中で急性期心臓MRIと慢性期心臓MRIを施行している患者様です。
<研究の方法> 既存の心臓MRIから急性期と慢性期に様々な心臓MRIの所見に差を認めているかを測定します。
<外部への試料・情報の提供の方法> ありません。
<研究組織> 【研究責任者】 日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町30-1) 循環器内科 氏名: 奥村恭男

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町 30-1）

循環器内科 氏名：奥村 恭男

電話：03-3972-8111 内線：(医局) 2412 (PHS) 8050